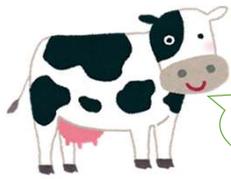


## 乳牛（乳牛は夏の暑さが苦手）

【三重県畜産研究所】

ヒアリング結果

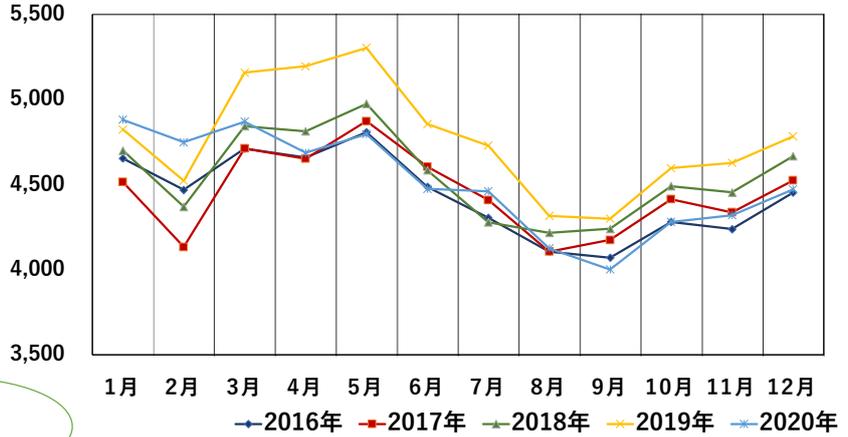
- 乳牛（ホルスタイン）はオランダが原産。もともと高温多湿な日本の気候は苦手。
- 夏の高温で乳牛へのストレスが高まっている。
- 暑さにより生乳の生産量が減り、受胎率が下がっている。



夏バテ  
するの。

単位:トン

三重県における生乳の月別生産量（2016～2020）



1

## 乳牛（乳牛は夏の暑さが苦手）

【三重県畜産研究所】

ヒアリング結果

《対策》

- 牛舎内の温度を下げるよう、風通しを良くする。
- 牛舎の屋根に石灰や暑さ対策の塗料を塗る。
- 換気扇やミスト（細かい霧が出る装置）を設置する。
- 夜など涼しい時に食べられるよう、エサの置き場に24時間エサを置いておく。

換気扇とミストが一体になった装置



ちょっと  
涼しいかも。



2

## きのこ（高温でも収穫可能なきのこ）

ヒアリング結果

## 【三重県林業研究所】

- 夏場の気温が高いことで、きのこ栽培施設の空調経費が増加している。
- 高温でも栽培可能なきのこを選んで、栽培方法を開発した。
- 温暖化の進行はきのこ栽培にさらなる影響を与える。国の研究では、シイタケについて、病害虫の増加、収穫量の減を懸念する結果がでている。



左から順に、ササクレヒトヨタケ、タモギタケ、ウスヒラタケ



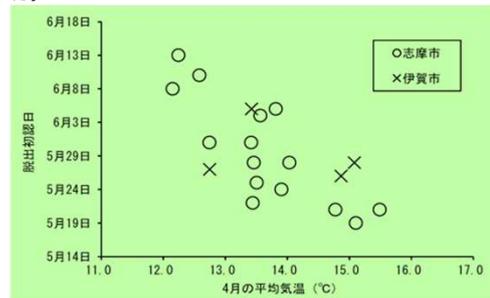
3

## 松くい虫の被害（マツノマダラカミキリの発生時期）

ヒアリング結果

## 【三重県林業研究所】

- 松くい虫被害によるマツ枯れを防ぐには、マツノマダラカミキリの成虫が発生する時期に薬剤を散布することが有効。
- 4月の平均気温が高いほど、マツノマダラカミキリの発生開始は早くなる傾向があり、気温の変化を注視していく必要がある。



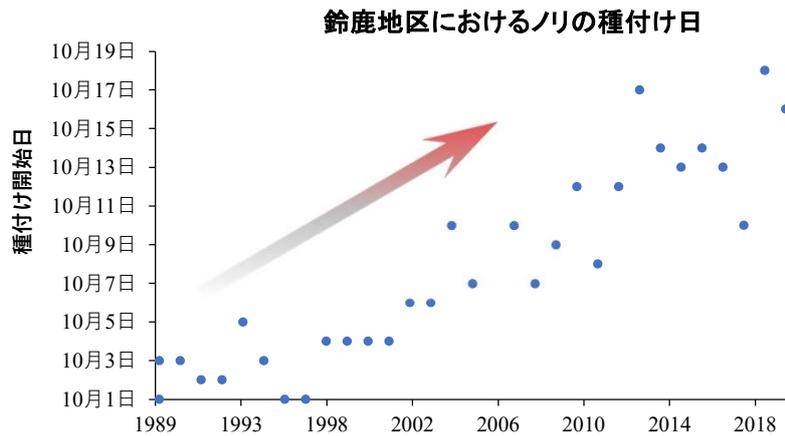
4

## 黒ノリ（高い水温でも育つ黒ノリ「みえのあかり」）

ヒアリング結果

【三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室】

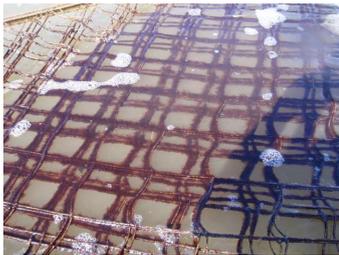
- 海水温の上昇で、黒ノリの種付け時期が遅れている。
- 高い水温でも栽培できる新品種「みえのあかり」を開発した。



5

## 黒ノリ（高い水温でも育つ黒ノリ「みえのあかり」）

ヒアリング結果



育苗開始20日程度のノリ



育苗中の網は、干潮時には網が水面上に出る



浮き流し式養殖  
(育苗後、岸边近から網を沖合に移す)

【生産者】

- 年を追うごとに種付けの時期が遅くなっている。
- 海水温の変化が不安定なため、種付けをする時期を見極めるのが難しい。
- 水温も問題だが、今、最も困っているのは色落ちの問題。
- 今のままだと黒ノリの養殖適地は北上していく。  
水産研究所には、新品種の開発を期待している。

6

## 養殖漁場の水温測定

ヒアリング結果

【三重県水産研究所 尾鷲水産研究室】

- 2016年に魚病診断の件数が増加。  
原因として海水温の上昇を疑い、  
詳細な水温測定を開始した。



マダイの魚病診断件数（生産量1,000トン当たり）と  
尾鷲湾（尾鷲市）における水温の推移(H19～30)



7

## 養殖漁場の水温測定

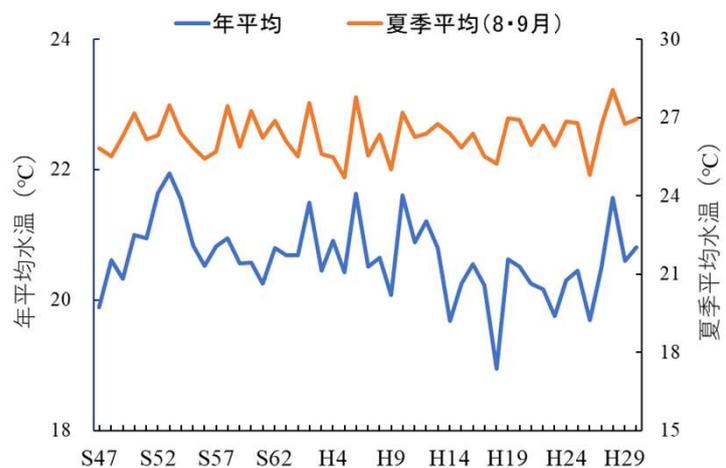
【三重県水産研究所 尾鷲水産研究室】

ヒアリング結果

- 長期的なデータを検証したが、沿岸での海水温の上昇は確認出来なかった。  
海水温は年毎のばらつきが大きい。



尾鷲湾（尾鷲市）の水温の推移(S47～H30 水深2m)



8